

がんばろう！東日本！ 立ち上がれ！東北！ みんなで集おう！全国保問研集会・山形集会！

未曾有の被害をもたらした「東日本大震災」そして「福島原発事故」・・・東日本の太平洋岸を中心に犠牲になられた方々、とくに保育・幼児教育の場で子どもたちとともに命を失ったみなさんのご冥福を祈ります。また、災害・事故について一日も早い復興を願っています。

今回の「第50回全国保育問題研究集会・山形集会」現地実行委員会は、山形・宮城の仲間準備をすすめてきました。その宮城での被害が大きいだけに不安はありますが、幸い、会場となる山形は無事です。もちろん、「大震災」直後ということもあり、ガソリンスタンドに長蛇の列ができたり、お店の棚から粉ミルクが姿を消したり・・・いろいろありますが、輸送手段、物流も次第に回復しています。

現地実行委員会は、こうした未曾有の「大震災」という事態の中でも、開催会場・宿泊予定のホテル等に問題のないことから、「第50回全国保育問題研究集会・山形集会」は全国のみなさんとともに予定通り開催します。

しかし、現地実行委員会を支える宮城のみなさん、そして岩手・福島などの被災状況を考えますと、これまで以上に全国のみなさんのご支援とご協力をお願いしなければなりません。

「全国保育問題研究集会」の50回目という節目のとき、「保育・幼児教育」制度が大きく揺らぐ中で保育・幼児教育の「質」が深く問われているとき、目の前の子どもたちの「成長したい」思いに寄り添い、「大震災」で犠牲となった子どもたちのかなうことのなかった「生きたい」思いを深く受け止める集会としましょう。

4月から参加申し込みの受付を開始します。受付業務を担当する名鉄観光(株)仙台支店は、万全の体制です。

全国のみなさんの協力で、これまで声をかけていた輪をさらに広げ、「大震災」をはねのけ、「がんばろう！東日本！ 立ち上がれ！東北！ みんなで集おう！全国保問研集会・山形集会！」を合言葉に、「参加のお願い」の声かけをこれまで以上にすすめましょう。

そして、集会参加のなかで、東日本、東北の被災されたみなさんを励まし、保育・子育ての輪・研究の輪を広げましょう。「全国保育問題研究会」の底力を発揮しましょう。

第50回全国保育問題研究集会・山形集会実行委員会